

(資料提供)

月 日	担当館名	電話	担当者
9月18日	県立近代美術館	Tel. 088-668-1088 Fax. 088-668-7198	学芸員 安達 友井

所蔵作品展「徳島のコレクション 2007-IV」の開催について

1 趣旨

この展覧会は、徳島県立近代美術館の所蔵作品を紹介するものです。

所蔵作品展は、当館のコレクションの方針によって、「20世紀の人間像」「徳島ゆかりの美術」「現代版画」の3つのコーナーに分かれています。

今回は、「20世紀の人間像」のコーナーで、「動きをめぐって」と題した特集展示を行います。

2 会期

2007年9月29日(土)～12月9日(日)

なお、会期中、現代版画の会期に合わせて、他のコーナーでも一部展示替えを行います。

3 会場

徳島県立近代美術館

[展示室1、展示室2、美術館ロビー、屋外展示場、彫刻の小径]

4 開館時間

午前9時30分～午後5時

5 休館日

月曜日 ただし10月8日と10月29日は開館します。
10月9日(火)

6 観覧料

一般 200円(160円)

高・大生 100円(80円)

小・中生 50円(40円)

※()内は20名以上の団体料金。

※高齢者(65歳以上)と障害者は、割引があります(半額)。

※祝日及び振替休日は無料です。

※小・中・高生は、土・日・祝・振替休日、春・夏・秋・冬休み中の観覧料が無料になります。

7 関連事業

【学芸員による展示解説】

- ・10月7日(日) 午後2時～2時45分

展示室1(2階) 安達一樹(専門学芸員)

- ・11月23日(金・勤労感謝の日) 午後2時～2時45分

展示室1(2階) 安達一樹(専門学芸員)

※観覧券をお求め下さい。

【美術を楽しむ・わたくし流】

「檜千尋の舞踊」

・12月2日（日） 午後2時～2時30分

展示室1（2階）出演：檜千尋（ひのき ちひろ 舞踊家）

※申込不要、観覧券をお求め下さい。

所蔵作品展に関連して、音楽や舞踊など、幅広い分野の催しを開催します。様々な分野の方の美術へのアプローチの仕方を通じて、みなさんの「わたくし流」の楽しみ方を発見していただきたいと願っています。

8 出品内容

当館の収集方針にあわせて、3つのコーナーで展示します。

【20世紀の人間像】

特集・動きをめぐって(展示室1、ロビー)

今回は、特集のテーマとして「動き」を取り上げました。動きを構成する要素は、「動」と「静」。形態からして激しい動きを示す作品もあれば、静止した姿の中に力を充満させる作品もあります。また、不可解な動きを見せる作品まで登場します。

作品に表された動きをもとに、作者の思いや、感情、描かれた時代性など、なぜこのように作られたのか、考えをめぐらせてみてください。

(出品点数)

9月29日 [土] -10月14日 [日]	35点
10月16日 [火] -11月18日 [日]	36点
11月20日 [火] -12月9日 [日]	35点

全40点

【現代版画】(展示室1)

- あのころの…1 : 1950-60年代 9月29日 [土] -10月14日 [日]
- あのころの…2 : 1970年代 10月16日 [火] -11月18日 [日]
- あのころの…3 : 1980年代以降 11月20日 [火] -12月9日 [日]

今回は、戦後を三つの時代に区切って、巖嘔（あい おう 1931年-）、加納光於（かのう みつお 1933年-）、吹田文明（ふきた ふみあき 1926年-）松谷武判（まつたに たけさだ 1937年-）、横尾忠則（よこお ただのり 1936年-）、吉原英雄（よしはら ひでお 1931-2007年）ら、昭和初期に生まれた6人の作家の作品を、作品を変えながら三期を通して紹介します。ひとりの作家が、時代によってどのように作風を変化させたのか。また、さまざまな作家が、同じ時代にどのような作品を生み出していたのか。時代と時代性を縦糸と緯糸に、作品を見る方々の記憶も織り交ぜながら、「あのころの」ことをいろいろと思い出していただければと思います。

(出品点数)

9月29日 [土] -10月14日 [日]	17点
10月16日 [火] -11月18日 [日]	16点
11月20日 [火] -12月9日 [日]	14点

全47点

【徳島ゆかりの美術】（展示室2）

徳島県出身の作家や、徳島の風景、風物に題材をとった作品などを紹介します。

特別展「美術の国徳島」では、帝展や文展などへの大きな作品を中心に、徳島ゆかりの美術を特集しました。その出品作家から、ここでは、伊原宇三郎（いはら うさぶろう 1894-1976年 徳島市生まれ）を、小型の作品でその制作をたどり、水彩画家・三宅克己（みやけ こっき 1874-1954年 徳島市生まれ）は、油彩画を紹介します。

また、現代の作家として、山下菊二（やました きくじ 1919-1986年 現在の三好市生まれ）や菊畑茂久馬（きくはた もくま 1935年- 現在の海部郡美波町生まれ）のほか、戦前から戦後にかけて30年近く徳島で暮らし、後進の指導や県展での活躍などにより、この時期の徳島の美術界の主要な作家といえる佐藤省三郎（さとう しょうざぶろう 1915-1994年 和歌山県生まれ）の作品を紹介します。また、この他、日本画や彫刻も展示します。

（出品点数）

9月29日 [土] -10月14日 [日]	21点
10月16日 [火] -11月18日 [日]	21点
11月20日 [火] -12月9日 [日]	21点

全23点

このほかに、美術館ロビー、屋外展示場、彫刻の小径に11点を展示します。

（出品点数合計）

9月29日 [土] -10月14日 [日]	84点
10月16日 [火] -11月18日 [日]	84点
11月20日 [火] -12月9日 [日]	81点

全121点

○展示作品内訳：（会期中展示替を含む総点数）

油彩画他 40点、日本画 10点、彫刻・立体 22点、版画 47点、写真 2点

計 121点